

特 67

449

實 驗

肺 病 根 治 談

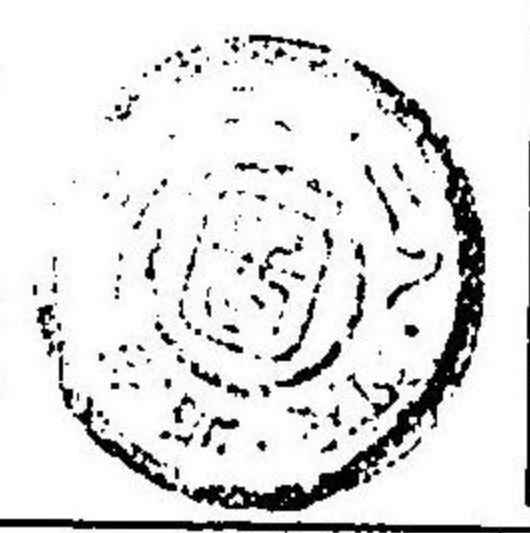
全

非 賣 品

37
449 No. 1480/23

實驗肺病根治談

中村長太郎著



予カ師某肺患ニ罹リテ褥ニ臥シ戶外ヲ竊ハサリシコト凡ソ一年間漸ク快方
 有シモ食慾ヲ發セス聲色未タ樂ヲ生セサリシコト殆ント三ヶ年今ヤ尚ホ
 長病後ノ衰耗ニ係リ健康故ニ復セスト雖モ其ト予ト協リ近古來未嘗
 有シ療治法ヲ攻究シ某自ラ身ヲ以テ之カ治療法ノ試驗ニ當リ果シテ此難治
 症ヲ根治セリ其治療法ハ後段ニ圖ヲ以テ之ヲ示サム願レハ某ハ怫鬱ノ間春
 花秋月ノ友皆我ト隔チ憔悴ノ久シキ青天白日モ慘愴トシテ常ニ明カナラサ
 ルカ如ク予今ニ於テ某當時ノ狀体ヲ回顧セハ忽爾トシテ寒栗殆ント體ニ治
 シ該病ノ難治症ナル草根石汁ノ間接能ナル一旦該症ニ罹リタルモノ多クハ
 之ヲ退治スルノ克ハスシテハ休共ニ衰耗シ結局該病ノ爲メニ斃サル、ニ至

ルハ自然的ノ己ムヲ得サル所以也故ニ某該病ニ罹リシ時慨然トシテ予ニ語テ曰ク嗚呼吾カ心跡窮マレリ吾能ク新奇ノ療法ヲ發明スルニ於テハ或ハ全ク治スルコトナシトセス然レモ在米ノ醫法ノミニ命ヲ頼ムカ如キニ於テハ吾モ亦到底該病ヲ退治スルコト能ハサルニ止マント是ヨリ毅然トシテ身ノ爲メニ病ヲ恐レズ病ヲ驅ルニ身ヲ吝マス積日ノ悒鬱ハ反テ今日ノ奮勵トナリ敢爲ナリテ自ラ期シ病苦ヲ浸シテ頻リニ此治法ヲ索メシハ看病中予ノ俱ニスル所タリシニ天未タ予輩ノ丹誠ヲ亡サス其勞空シカラズシテ遂ニ奇法ニ談當セシハ抑亦命ノ未タ盡キサルニ依ルカ予ヤ某ヤ生理病理等ノ學科ニ達セサルヲ以テ固ヨリ其學理ニ依テ治法ヲ攻究セシニハ非ラサルナリ精神一致耐忍刻苦ノカラニ依テ此法ニ談リタルモノナレハ必竟某ノ僥倖ニ外ナラスト雖モ予ヲ以テ之ヲ見レハ數年來ノ難病ヲ僅々ノ日數ニテ根治セシハ

蓋シ自ラ學理的ニ適スルアルニヨルナラム予カ輩ノ淺學者敢テ之レカ説明ノ任ニ當ルヲ得スト雖モ之ヲ一己人ニ止メテ世ニ公ニセサルハ亦予ノ精神ニアラサル也抑某ノ病痼ニ在ルヤ醫藥ノ一途ニ倚リテ他ノ療法ヲ試ミス偶々灸點ノ能功ヲ教ユルモノアレハ某心竊カニ之ヲ斥ケテ省ミス然レモ究迫ノ極種々ノ療法ヲ攻究スルニ方リテ予熟々某ニ語テ曰ク灸法ハ固ト學說ニ基キタルモノニアラサレハ即チ實驗ニ出テタルモノニ外ナラスシテ古來世人其功能ヲ稱揚シ灸點ニテ諸病ヲ治スルモノ尠ナカラサルハ已ニ驗證著シキヲ以テ論明ナルニ某ノ一概ニ之レヲ擯斥スルハ數百年ノ功績ヲモ顧ミス單ニ歐洲ノ醫風ニ偏癖シテ頭ニ新ヲ貴ヒ一ニ舊ヲ疎シ頗ル皮相ノ感ニ過クルカ如シ況ヤ醫藥醫療ノ進歩セル西洋ニ於テモ却テ東洋ヨリ該患者ノ多キヲ見ルハ獨リ洋藥ノミニヨリテ該病ヲ全治セシメントスルハ得テ望ムヘ

カラザルノ推摩ニ外ナラスヤト某怡然トシテ曰ク大ニ悟ル所アリト如斯深ク灸法ヲ信スルニ至ルト雖モ古來灸醫各々己ノ所見ヲ以テ殆ント之ヲ施シ盡セルカ如キモ未タ以テ該病ヲ根治スル著シキモノアラザルヲ以テ殊更ニ新奇ノ要所ヲ擇ミテ之ヲ試ムニアラザレハ到底近古絶無ノ良法ハ得難カルヘシト於是カ予輩又一層ノ思念ヲ回ラシテ遂ニ確然鑑定スル所アリ依テ某自ラ之ヲ試メリ在來ノ灸點多クハ背部四肢等ナルモ某新法ノ要点ハ肺ノ正面ナリ施法ハ後段ニ就テ之ヲ看ヨ某ノ該灸ヲ試ミシハ微熱アリタル時ナリシモ稽留熱ナレハトテ痲情ナク直チニ之ヲ施セリ此灸ヲナシタル夜ハ常ヨリ微シク快カラザルカ如ク覺ヘタリシモ果シテ灸ノ爲メナラント別ニ意ニ介スルヲアラス然ルニ其後三日ヲ經タレハ果シテ驗アリ微熱全ク去リ略瘥忽チ止ミ數十日ノ後ハ肉肥ヘリ某曰ク心性大ニ快爽ナリト既ニ卓功如斯時

ニ某ト予ノ歡喜如何ナリシヤ氣躍リ心舞ヒ暫ク身ノ處措ヲ知ラザリシ嗚呼某ヲシテ百年ノ壽ヲ全フセシムルモノハ此ノ灸點ナリ此灸點ヲ喜ハサルヘケンヤ莫ソ人ヲシテ此灸點ヲ喜ハシメサルヘケンヤ後潛カニ之ヲ考フレハ此灸點ヲナスニハ甚タ其時期アルヲ知ル熱アル時又ハ衰耗太シキ時ハ必ス之ヲ忌ムヘキ也然レトモ該病患者多クハ常ニ微熱アリ又多少ノ衰弱ヲナスハ常ナレハ如斯際ニ於テハ敢テ妨ケアラザルヲ信スト雖モ時ニ臨ンテ患者ノ氣力ト体力ト其ノ時期トハ醫師之ヲ診斷セサルヘカラス妄リニ之ヲ施ス可キニアラザル也蓋シ人各其體質ヲ異ニシ病症又種々ナレハ我ニ適當セシ治法必スシモ被レニ適當スヘキニアラスト難ニ其施療ノ時期ヲ誤ラサルニ於テハ灸ノ害アル者灸ノ不適當ナル者等ハ絶テ之レナクシテ但或ハ其能功上ニ多少ノ差アルヲ信スルノミ抑予カ此事歷ヲ公ケニ談スルノ旨意ハ素ヨリ

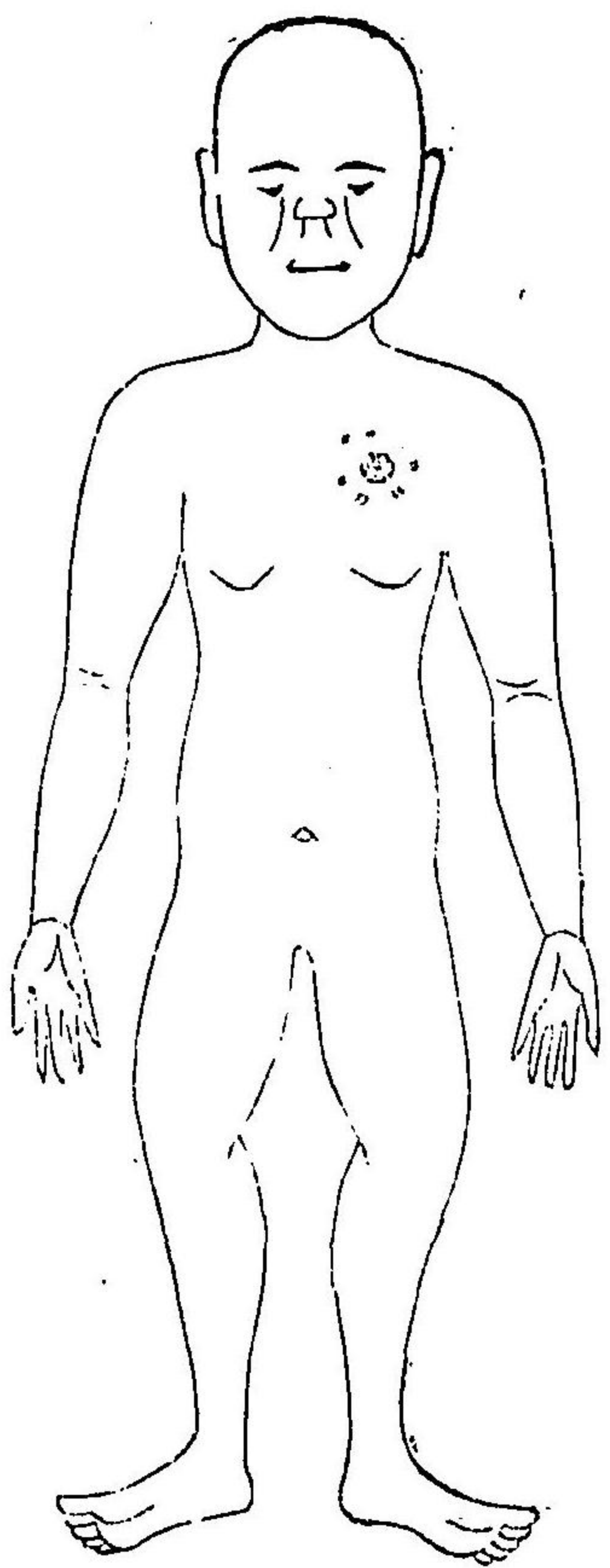
之ヲ他人ニ勸ムルニアラスシテ須ク之ヲ當業者ノ参考ニ供セントスルニア
 リ其一タヒ此病ノ慘惻ニ觸レテ予ヤ其看病ニ當リシヲ以テ此病者アル毎ニ
 其人ノ爲メニ憫諒セサルコトアラサルハナク一毛ノ談病者ヲ利スルアルモ其
 裨益ニ當ラシメンコトヲ勉ムルノ情心ヲ生スルニ至ル此書ハ則チ患者ニ直接
 ニ談スルモノニアラスト雖モ著述ノ因テ起ル所全ク茲ニアリ其ハ常ニ業務
 拮据ノ間ニ在ルヲ以テ予之ヲ上梓シテ公ケニスルノ勞ヲ執ル故ニ當業者之
 ノ讀ンテ妄リニ之ヲ退ケス而シテ亦慚リニ之ヲ施サス希クハ此療治法果シ
 テ如何ナル理由アリテ如斯難治症ヲ根治スルノ能功アルヤ即チ之ヲ究明シ
 テ而シテ後之カ施療ヲ試ムニ於テハ此難治病ヲ根治スルニ愈々過チナカラ
 シカ之ヲ要スルニ著述ノ旨意ハ當業者ノ参考ニ供シ識者ノ感覺ニ訴フルニ
 アリ讀者宜シク之ヲ是非スヘシ而シテ之カ活用ノ範圍ニ及ンテハ著者ノ敢

テ與リ知ル處ニアラサル也

施療法（第一圖）

●印ハ患部

○印ハ灸點但シ一痕ニ付一個乃至三個ヲ施ス
 灸ノ太サ

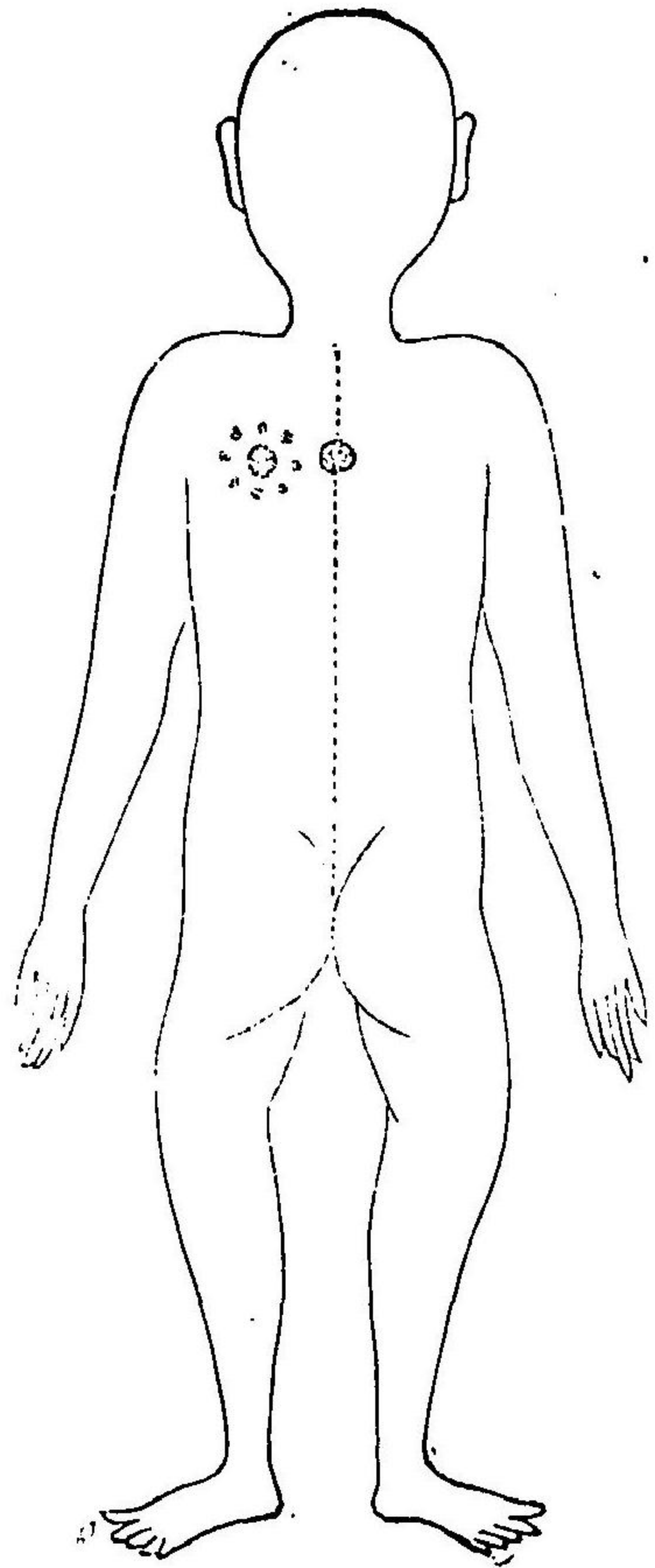


圖ノ如ク病疵ノ周圍ニ灸ヲナスナリ

施療法 (第二圖)

背骨ノ灸ハ一痕ニ付七個乃至十四個

他ハ第一圖ノ如シ



(非賣品)

明治廿三年二月十六日印刷
明治廿三年二月十七日出版

因幡國高草郡穂谷村廿五番地住

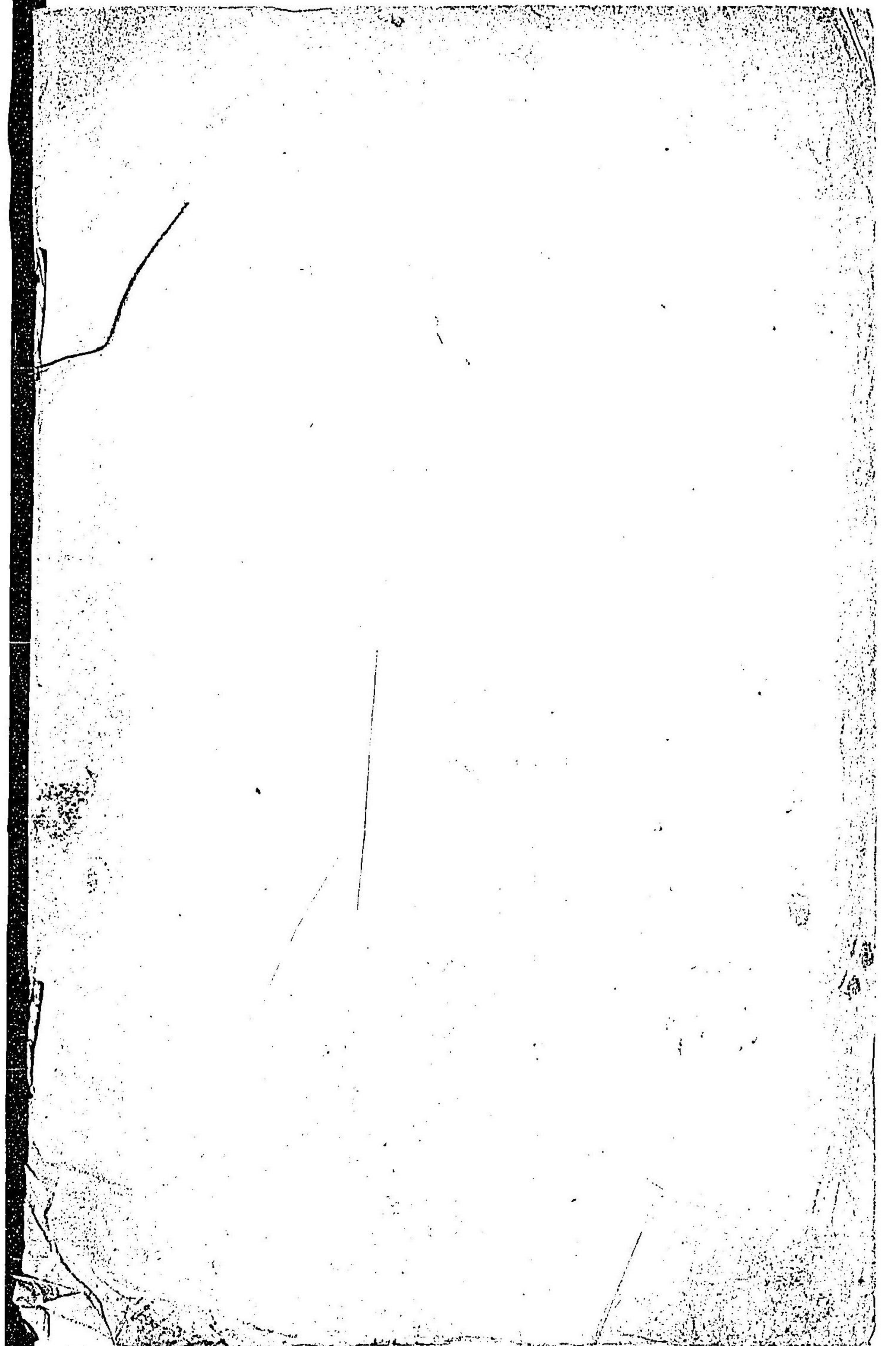
中 村 長 太 郎

著述者兼
出版人
中 村 長 太 郎

因幡國鳥取市上魚町廿一番地

鳥 取 印 刷 會 社

印刷所



特67

449

實 驗

肺 病 根 治 談

全

非 賣 品

059310-000-1

特67-449

實驗肺病根治談

中村 長太郎 / 著

M23

CBF-0170

